

1. 件 名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構核燃料サイクル工学研究所の緊急時対策支援システムに伝送する情報について

2. 日 時：令和3年10月14日 10：00～10：50

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

川崎企画調整官、宮地防災専門官

(以下、テレビ会議システムによる出席)

蔦澤専門職、和田専門職

日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所

再処理廃止措置技術開発センター 技術部 技術管理課長 他18名

5. 要 旨

日本原子力研究開発機構から、核燃料サイクル工学研究所における緊急時対策支援システムへ伝送する情報の抽出について、6月29日に指摘した緊急時対策支援システム（以後、「ERSS」という）への伝送の全体像、緊急時活動レベル判断のために必要な情報について整理した内容の説明があった。(資料1)

原子力規制庁より、今回示されたデータに、伝送が必要と判断した情報及び伝送不要と判断した情報それぞれの理由を明確にし、提示するよう伝えた。これに加えERSS伝送に関する整備と運用が、当初計画から遅れているが、機構本部も主体的に当初どおりに伝送開始を行うべく再検討するよう伝えた。

日本原子力研究開発機構から、計画について再検討し説明する旨の回答があった。

6. その他

配布資料：

資料1 核燃料サイクル工学研究所 東海再処理施設に係る緊急時対策支援システム（ERSS）の伝送項目について

日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所